



横浜市歴史博物館 企画展

# 「横浜市指定・登録文化財展」

## 「横浜の遺跡展－港北の狩人たち」

会 期	平成 27 年 12 月 5 日 (土) ～平成 28 年 1 月 11 日 (月・祝)
開館時間	9 時～17 時 (入館は 16 時 30 分まで)
観 覧 料	無料 (常設展は別料金)
休 館 日	月曜日 (1 月 11 日は開館)、12 月 28 日～1 月 4 日
主 催	横浜市歴史博物館 横浜市教育委員会 (公財) 横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター

### ●「横浜市指定・登録文化財展」

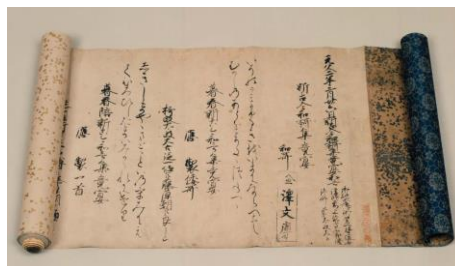
横浜市が昭和 62 年に制定した横浜市文化財保護条例に基づき、指定・登録された文化財を公開します。今回は平成 27 年度に指定された国の重要文化財 1 件と横浜市の指定文化財 3 件を中心に紹介します。

#### <主な展示資料>

① しんこきんわかしゅうきょうえんわ か 新古今和歌集 竟 宴和歌 (国指定重要文化財)

横浜市立大学所有 鎌倉時代

①



② もくぞうにちれんしょうにんぎぞうつけたりしほんぼくしよほけきょう ほけきょうしよしやもくるく 木造日蓮聖人坐像 附 紙本墨書法華經および法華經書写目録 8 卷 (市指定有形文化財)

上行寺所有 室町時代

③ もくぞうほうがいこうえんぎぞう 木造方外宏遠坐像 (市指定有形文化財) 海蔵院所有 南北朝時代

④ がいとうかみしばい つけたりぶたい ひょうしぎ 街頭紙芝居 附 舞台・拍子木 (市指定有形民俗文化財) 横浜市 (横浜市歴史博物館保管)

昭和 20～30 年代



## ●「横浜の遺跡展—港北の狩人たち」

### 「旧石器時代から縄文時代の環境変動とそこに生きた人々」

3万年から1万3千年前のヨコハマ。寒冷な旧石器時代から温暖な縄文時代へと急激に移り変わるなかで、人々は周囲の環境に対してどのように適応し、生活してきたのか。これまで展示されなかった資料も含め、横浜市内から出土した旧石器時代から縄文時代の始まりにかけての石器に焦点を当て、縄文土器が出現するまでの時代の変動とその足跡をたどります。

#### <主な展示資料>

##### ①旧石器時代の尖頭器・

ナイフ形石器（四枚畑遺跡ほか）



##### ②縄文時代草創期の尖頭器・

石鏃（花見山遺跡）



##### ③縄文時代草創期の隆線文土器（花見山遺跡ほか）



## ●関連イベント

・学芸員・調査員による展示解説（「文化財展」と「横浜の遺跡展」の解説を合わせて実施します。）

平成27年12月19日（土）11:00～、14:00～ の2回

平成28年1月10日（日）11:00～ の1回

### ・「横浜の遺跡展」関連講演会

「旧石器時代から縄文時代への環境変動とヨコハマに生きた人々」

日時：平成28年1月10日（日）13:00～16:00（12:30開場）

講師：仲田大人（青山学院大学講師）、平山尚言（当財団埋蔵文化財センター）

会場：当館講堂、定員：150名、費用：500円（資料代）

申込方法：往復はがきに、講演会「旧石器時代から縄文時代への環境変動とヨコハマに生きた人々」

参加希望と明記の上、住所、氏名、電話番号、返信用宛先を記入し、埋蔵文化財センター宛にお送りください。12月18日必着（応募者多数時は抽選）。

宛先：（公財）横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター

〒247-0024 横浜市栄区野七里2-3-1 TEL. 045-890-1155 Fax. 045-891-1551

### お問い合わせ先

横浜市歴史博物館 副館長 井上 攻

TEL 045-912-7777

（公財）横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター 所長 遠藤廣昭 TEL 045-890-1155

\*画像データをご要望の場合はこちらへご連絡ください。 久保（広報） TEL045-912-7777